

煙突など公害調査

チツソ水 市民も対策に期待 俣工場

チツソ水俣工場（北沢俣次工場

音なども調査している。

長、三千人）は、さる十月一日から同工場安全衛生部に公害課を設け、公害予防に乗り出しているが、このほど調査の結果がまとまった。

これら調査結果に基づいて、同課では関係部門への手防、改善対策の指導、勧告などを行なっている。亜硫酸ガス対策としては、技術部と共同で実験装置を増備中

工場煙突から出る亜硫酸ガスは、煙突で一立方メートルあたり一・一〇二グラム、外サク付近で三・三グラム、粉じんは工場正門前で一立方メートルあたり六十九個。原石を投げ入れるときの騒音は、外サク付近で八十一・九十二ホン、丸島通りで六十五・七十八ホンとなっ

で、カーバイド粉じん対策については煙突に逃げる粉じんの量、量および風速を測定する計画で、月末までには設備が完備する。排水溝のしゅんせつは、百八十八万円の手算で工事中で来年一月末には完了、丸島地区の水害防止にもなる。